BOSE®

OWNER'S MANUAL

MDレコーダー

MDA-10

目　次

この度はMDA-10をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されることをおすすめいたします。

MDA-10取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告	絵表示	内容
	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	△	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
		●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告		
⚠ 警告	🚫	通風孔のある機器のみ ●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。 この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。 テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
	⚠	●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
	🚫	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。 ●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	分解禁止	●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	🚫	●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 ACアウトレット（電源コンセント）付き機器のみ ●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（ワット／容量）数を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

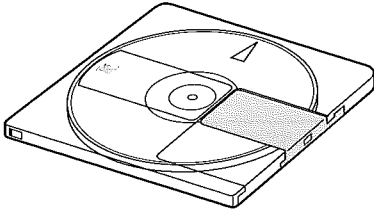
注意		
⚠ 注意	🚫	●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	⚠	●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。 電池を使用する機器のみ ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	プラグを抜く	●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	⚠	●約5年に一度は機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。 ●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 ※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
	🚫	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	プラグを抜く	●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	🚫	●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	⚠	●お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
	⚠	●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

音のエチケット

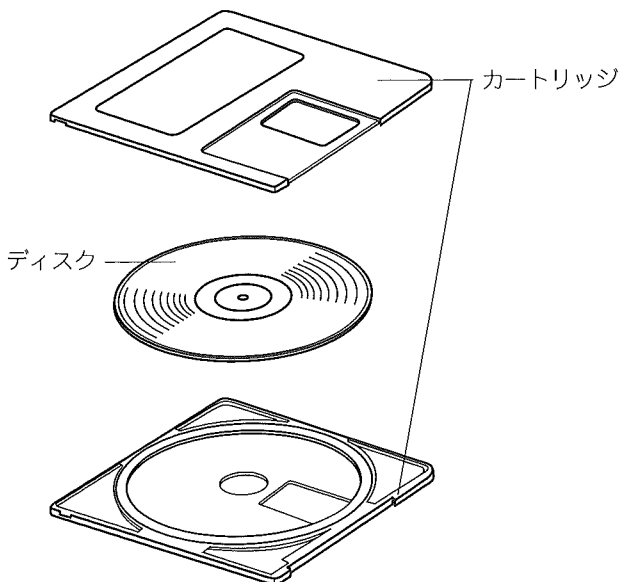
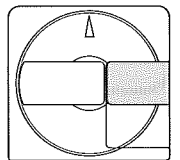
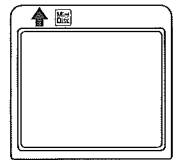
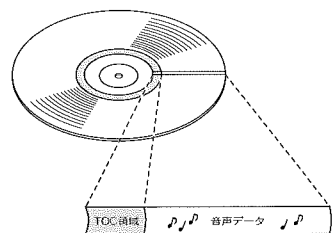
●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

MD(ミニディスク)の取り扱いについて

◆MDについて◆

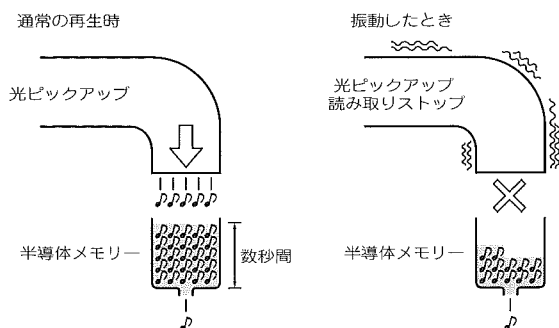
MD(ミニディスク)とは

●小さいディスク
直径64mmのディスクを68×72×5mmの大きさのカートリッジに収めたもので、テープのように伸びたりからんだりする心配がなく、音質も劣化することもなく耐久性に優れています。また、カートリッジに収められているので、ほこり、キズ、指紋などもつきにくく取り扱いの簡単なディスクです。

●デジタル録音、再生
MDは、録音、再生ともデジタル方式です。そのため、ノイズや歪みが極めて少なくコンパクトディスク(CD)に迫る高音質を実現しています。

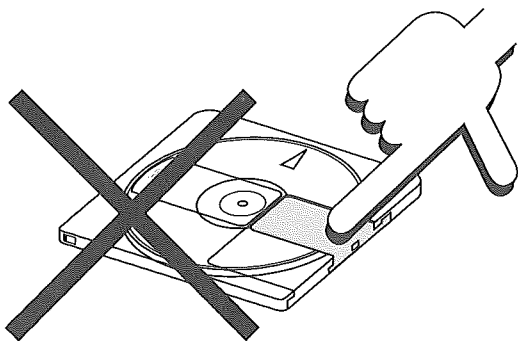
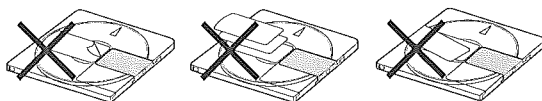
●MDの構造

●MDの種類について
MDには再生専用と、録音・再生ができるものの2つのタイプがあります。

・再生専用MD
再生のみが可能で、市販の録音済みソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクで光学ピックアップで信号を読み取り、再生します。また、このMDには編集は一切できません。

・録音用MD
何度でも録音・再生ができる「生ディスク」です。
光磁気ディスクを使用しておりレーザー光と磁気で記録する磁界変調オーバーライト方式を採用しています。

●ATRACについて
MDは、CDの約半分の直径でありながらCDとほぼ同じ長さの音楽を記録することができます。これは、新しく開発された聴覚心理学に基づく音声圧縮技術“ATRAC : Adaptive TRansform Acoustic Coding(アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング)”によるものです。この技術によって聴覚上の音質が損なわれることがないように音楽データを1/5に圧縮することができます。

●素早い選曲(TOC)について
MDは、CDと同じように高速で目的の曲の頭出しができます。しかも、録音用のMDでは、頭出しのみならず録音した曲の編集も素早く行えます。
これは、曲の情報を“ユーザーTOC : Table Of Contents”と呼ばれる音楽データとは別の領域で管理しているからです。MDはこのTOCデーターを書き換えるだけで、曲を消去したり、曲順を変更することができます。

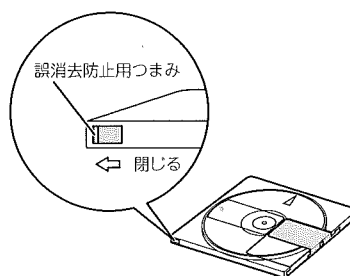
●音とびガードメモリー

MDは、ディスクから読み取られたデーターをすぐに再生するのではなくいったん半導体メモリーに蓄えておく音とびガードメモリーを採用しています。このため、外部からの衝撃や振動で光学ピックアップからの読み取り信号が途切れても、半導体メモリーのデーターがなくなる前に光学ピックアップからの読み取りが再開すれば音楽が途切れることなく再生することができます。

●MD取り扱いについて

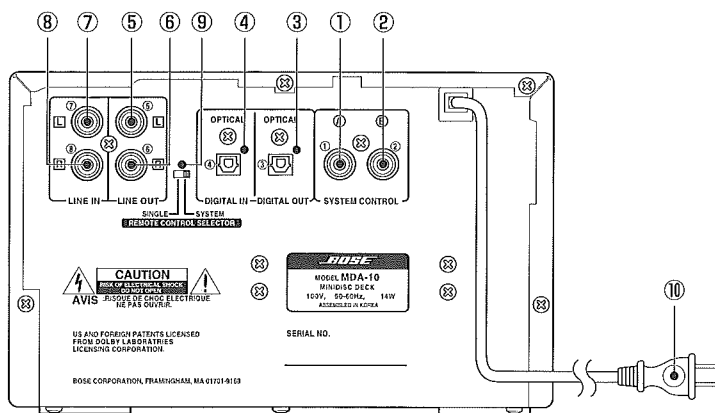
ミニディスクは、カートリッジに収められていますので、ゴミや指紋を気にせずに手軽に取り扱うことができますが、カートリッジが汚れていたり、そっていたりすると誤動作を起こす場合があります。いつまでも美しい音を楽しむために次のことにご注意ください。

・MDに直接触らないでください。
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。
また、シャッターを開けてカートリッジ内のMDを直接触らないでください。
・定期的にカートリッジについたほこりやゴミを乾いた布でふき取ってください。

●MD保管上の注意

ミニディスクを次のような場所に置くことはさけてください。

・直射日光の当たる場所。
・暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
・車の中などの高温になる場所。
・投光照明機などの発熱物の近くの場所。
・極端に寒い場所。
・湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
・カートリッジの中に、砂やほこりの入りやすい場所。

●MDにラベルを貼るときの注意

・ラベルは正しく貼り付けないと、ディスクが本体内部につまって取り出せなくなることがあります。

●大切な録音を消さないために

・録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止用つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

光学ピックアップレンズの結露現象について

MDA-10を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

各部の名称および機能（背面）

①② リモコン端子（REMOTE CONTROL）

AMS-DMCのAまたはB端子とリモートコントロールコードでシステム接続すると、便利なシステム機能（タイマー再生、CDシンクロ録音機能など）が使用できます。

③ 光デジタル出力端子（DIGITAL OUT）

光デジタル信号が出力されます。角型の光デジタルケーブルを使って、光デジタル信号が入力できる機器（MD デッキ、AVアンプなど）に接続します。光デジタルケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてご使用ください。また、使用しない場合はほこりなどが入らないようにキャップは付けておいてください。

④ 光デジタル入力端子（DIGITAL IN）

光デジタル信号を入力する端子です。本機はデジタル信号をデジタルのまま録音するために、異なったサンプリング周波数を自動的にMDの標準サンプリング周波数に変換するサンプリング周波数コンバーター（18ページ参照）を内蔵しています。

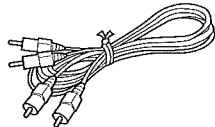
⑤⑥ LINE OUT

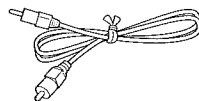
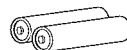
MDのアナログの再生信号が出力されます。

⑦⑧ LINE IN

外部からのアナログ信号を入力する端子です。

⑨ リモコンセレクター（REMOTE CONTROL SELECTOR）

AMS-DMCとリモートコントロールコードでシステム接続した場合は"SYSTEM"側にしてください。その他の場合は"SINGLE"側にしてください。

⑩ 電源プラグ

接続がすべて終了したら、家庭用電源コンセントに接続してください。

付　属　品

光デジタルケーブル×1本

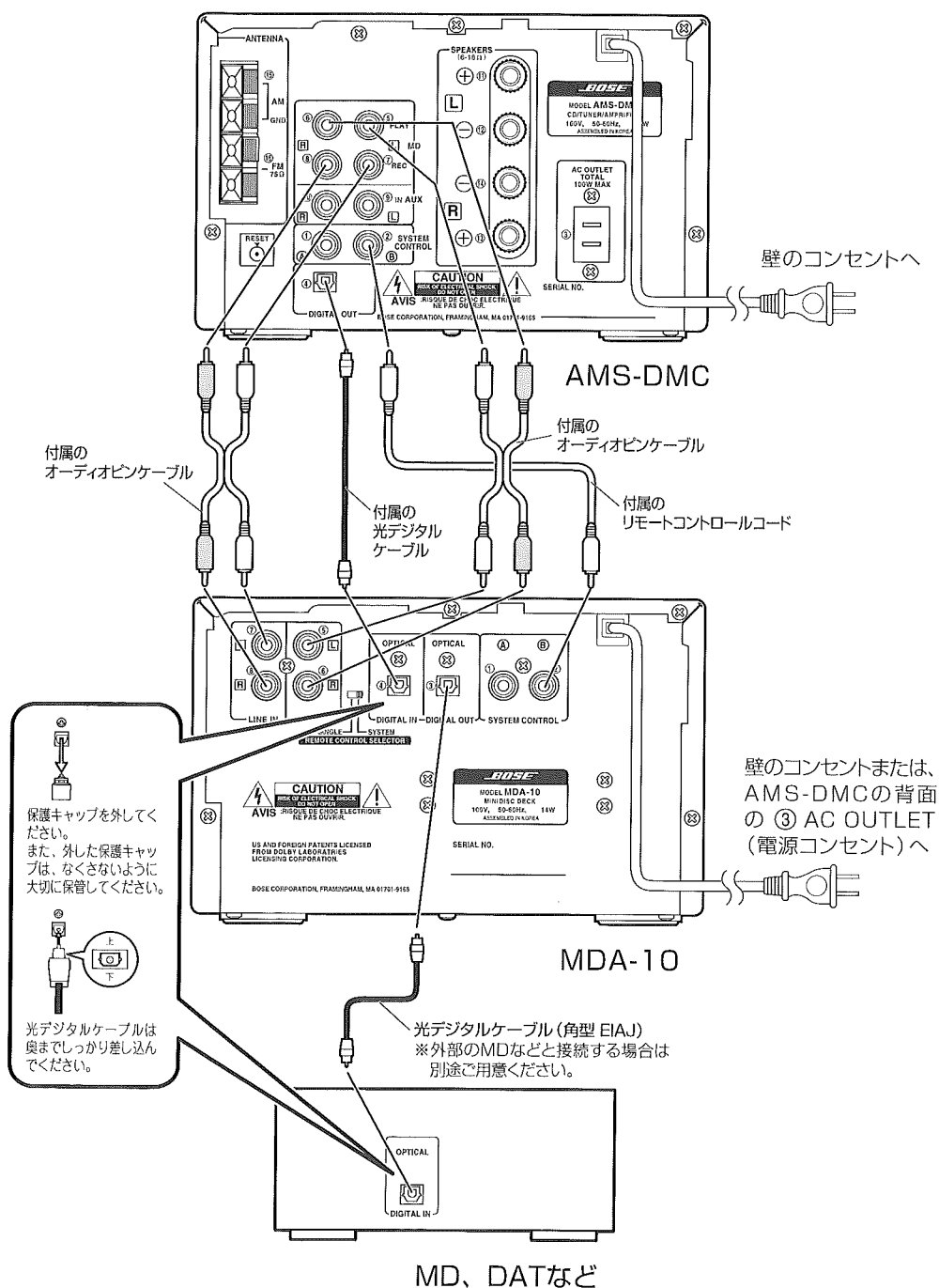
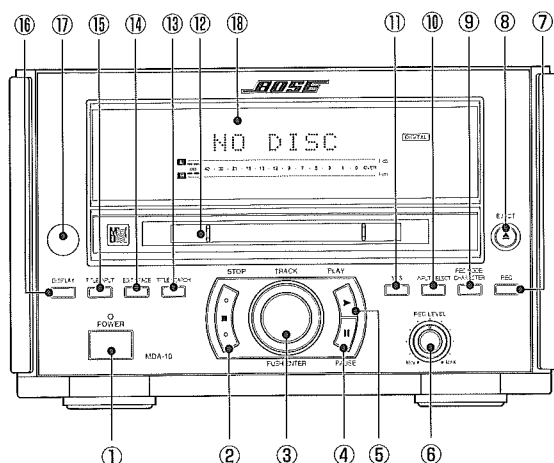
オーディオピンケーブル×2本

リモートコントロールコード×1本

リモコン用乾電池（チェック用）（単4形）×2本

接続について

⚠ 接続時の注意

●すべての接続が終わるまで電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。
●接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

各部の名称および機能(前面)

① POWERキー
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
スタンバイモードのときはオレンジのインジケーターが点灯し、表示部に"ーSTANDBYー"が表示されます。

② STOPキー(■)
再生/録音、各種操作を停止します。

③ ジョグダイヤル
再生時のスキップの他、各種操作に使用します。

④ PAUSEキー(❚❚)
再生/録音を一時停止します。もう一度押すと、一時停止が解除されます。

⑤ PLAYキー(▶)
MDを再生します。

⑥ 録音レベル調整つまみ(REC LEVEL)
アナログ録音のレベルを調整するときに使用します。

⑦ RECキー
録音可能なMDが入っているときにこのキーを押すと、録音待機状態になります。もう一度押すと、録音が始まります。

⑧ EJECTキー(⏏)
MDを取り出すときに押します。

⑨ REC MODE/CHARACTERキー
REC MODE(書き込み設定モード)に切り替えます。タイトル編集をする場合は、文字の種類を切り替えます。

⑩ INPUT SELECTキー
録音するときの入力を切り替えます。

表示部表示	内　容
OPTICAL	デジタル入力
MONO	アナログ入力(モノラル録音)
ANALOG	アナログ入力(ステレオ録音)

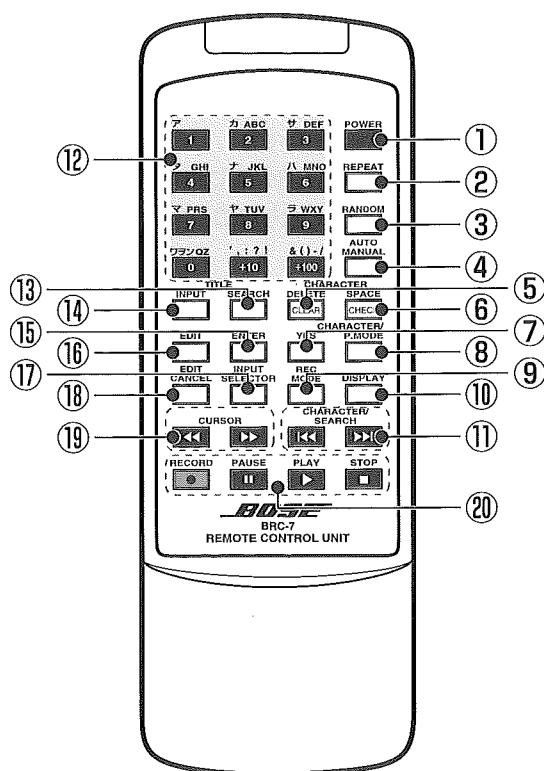
⑪ YESキー
各種操作を確定するときに使用します。

⑫ MD挿入口
MDをここから入れます。スタンバイモードのときにMDを挿入すると、自動的に電源が入ります。

⑬ TITLE SEARCHキー
MDに録音されている曲にタイトルが付いている場合、このキーを押して③ジョグダイヤルを回すとタイトルで曲を探すことができます。

⑭ EDIT/SPACEキー
編集モードを切り替えます。タイトル編集をする場合は、スペース(空白)を入力するときに使用します。

⑮ TITLE INPUTキー
タイトル入力モードに切り替えます。

⑯ DISPLAYキー
表示部の表示を切り替えます。

⑰ 受光部
リモートコントローラーから出された赤外線を受信するところです。

⑱ 表示部
ディスク名、曲名、曲番号、再生モード、編集モードなど、いろいろな情報を表示するところです。

リモコンの使用方法

AMS-DMCと組み合わせて使用する場合は、本機背面のリモコンセレクターが"SYSTEM"側になっていることを確認してください(6ページ参照)。

① POWERキー

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

② REPEATキー

リピート再生するときに使用します。

③ RANDOMキー

曲を順不同再生するときに使用します。

④ AUTO MANUALキー

録音するときの曲番の付け方を切り替えます。

⑤ CHARACTER DELETE/CLEARキー

タイトル編集をする場合は、文字の削除に使用します。また、プログラムや編集作業の選択の取り消しに使用します。

⑥ CHARACTER SPACE/CHECKキー

タイトル編集をする場合は、スペース(空白)を入力するときに使用します。また、プログラムした曲のチェックに使用します。

⑦ YESキー

各種操作を確定するときに使用します。

⑧ CHARACTER/P.MODEキー

タイトル編集をする場合は、文字の種類を切り替えます。また、プログラムモードに切り替えます。

⑨ REC MODEキー

REC MODE(書き込み設置モード)に切り替えます。

⑩ DISPLAYキー

表示部の表示を切り替えます。

⑪ CHARACTER/SEARCHキー(|◀◀ / ▶▶|)

再生時のスキップ他、各種操作に使用します。

⑫ 数字キー

曲番を選択するときに使用します。タイトルを編集する場合は、文字の入力に使用します。

⑬ TITLE SEARCHキー

MDに録音されている曲にタイトルが付いている場合、タイトルで曲を探すときに使用します。タイトルを編集するときは、挿入モードと上書きモードを切り替えます。

⑭ TITLE INPUTキー

タイトル入力モードに切り替えます。

⑮ ENTERキー
各種操作を実行するときに使用します。

⑯ EDITキー
編集モードに切り替えます。

⑰ INPUT SELECTORキー
録音するときの入力を切り替えます。

⑱ EDIT CANCELキー
編集作業の取り消しに使用します。

⑲ CURSORキー（◀◀／▶▶）
MD再生時の早送り/早戻しに使います。タイトル入力する場合は、カーソルの移動に使用します。

⑳ 基本操作キー
■：STOPキー
再生/録音、各種操作を停止します。

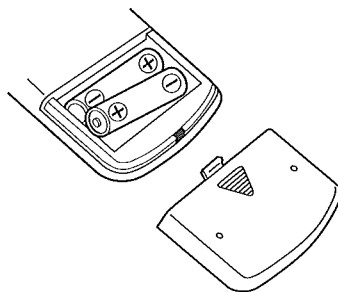
▶：PLAYキー
MDを再生します。録音一時停止時に押すと、録音が始まります。

Ⅱ：PAUSEキー
再生/録音を一時停止します。もう一度押すと、一時停止が解除されます。

●：RECORDキー
録音可能なMDが入っているときにこのキーを押すと録音待機状態になります。もう一度押すと、録音が始まります。

リモコンの使用上の注意
●本機の受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
●本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
●リモコンと本機受光部の間に障害があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。

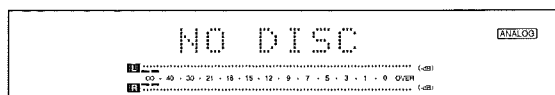
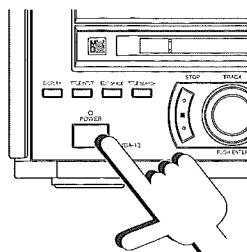
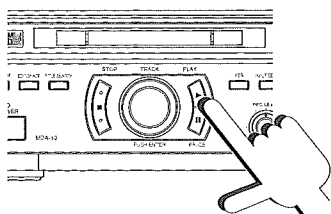
電池の入れ方
ケースの⊕と⊖表示に合わせて、乾電池（単4形）2本を入れてください。

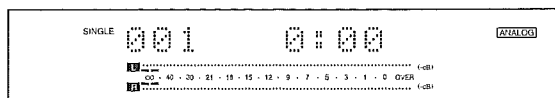
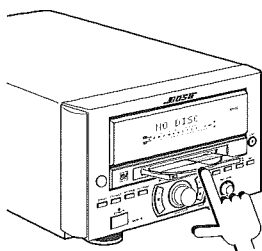
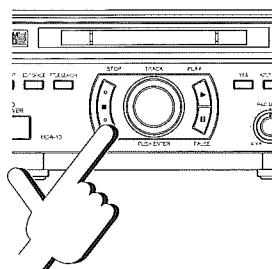
電池の交換時期は…
リモコンでの操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についてのご注意
乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

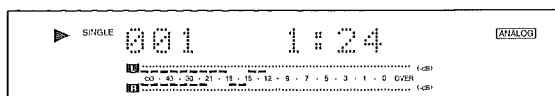
●乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
●新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
●乾電池は絶対に充電しないでください。
●長い間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
●液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

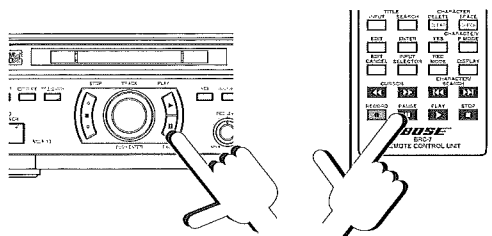
再 生

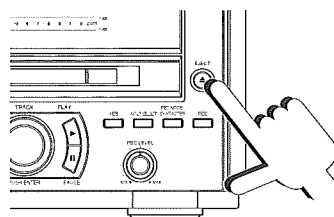
1.電源を入れる。

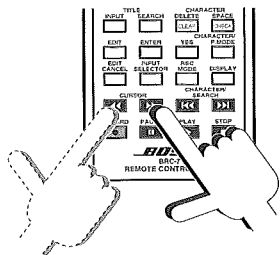
POWERキーを押します。

2.MDを入れる。

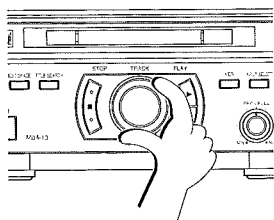
MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。表示部に"READING"が点滅し、時間表示になります。MDに名前が付いている場合はディスク名が表示された後、時間表示になります。

3.PLAYキー（ ▶ ）を押す。

一曲目から再生が始まります。

再生を止めるには

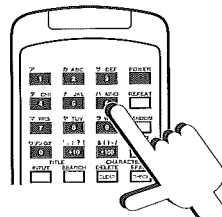
STOPキー（ ■ ）を押すと再生が停止します。

MDを取り出すには

EJECTキー（ ⏏ ）を押します。再生が停止し、MDが出てきます。

一時停止するには

PAUSEキー（ ▮▮ ）を押すと一時停止状態になり、表示部の" ▶ "と" ▮▮ "が点灯します。

●再び再生を始めるには、PAUSEキー（ ▮▮ ）またはPLAYキー（ ▶ ）を押してください。

再　生（続き）

聴きたい部分をさがすには（サーチ）

再生中にリモコンのCURSORキー（◀◀/▶▶）を押して、聴きたい部分が見つかったら指をはなします。

好きな曲から再生するには（スキップ）

停止中または再生中にジョグダイヤルを回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作します。

●再生中は、|◀◀ の方向に一回カチッと回すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、ジョグダイヤルを続けて回してください。

●リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（|◀◀/▶▶|）を押します。

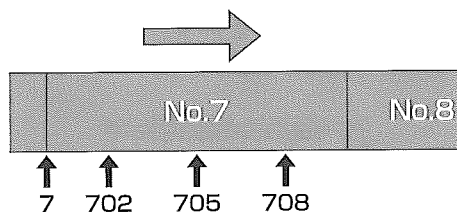
●プログラムモードでは、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

●一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

リモコンで選曲するには

停止中または再生中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

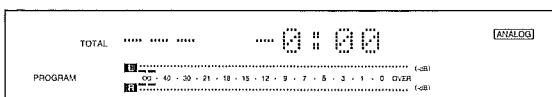
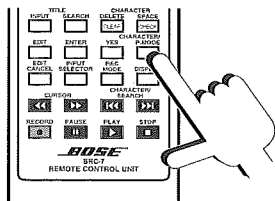
●一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

※プログラムモードでは操作できません。表示部に“PROGRAM”が点灯している場合は、停止中にリモコンのCHARACTER/P.MODEキーを押して、プログラムモードを解除してください。

数字キーを使って、曲の途中から再生には

再生中の曲の中間　：　0 ⇨ 5

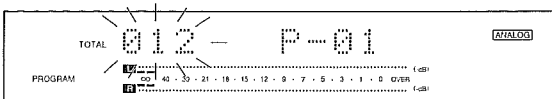
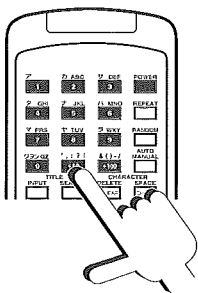
曲番7の初めの部分：　7 ⇨ 0 ⇨ 2

曲番7の中間　　　：　7 ⇨ 0 ⇨ 5

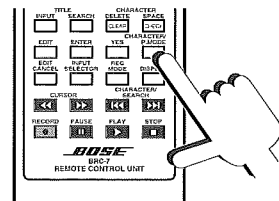
曲番7の終わり　　：　7 ⇨ 0 ⇨ 8

●一時停止中に操作すると、曲中の選んだところで一時停止状態になります。

●表示部に“READING”の点滅中に、そのMDに存在しない曲番を押すと、そのMDの一番最後の曲が再生されます。

プログラム再生 この操作はリモコンでしかできません

聴きたい曲を聴きたい順に、32曲までプログラムして再生することができます。

1.プログラムモードにする。

停止中にCHARACTER/P.MODEキーを押して、プログラムモードにします。

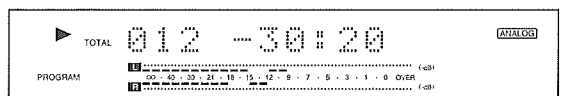
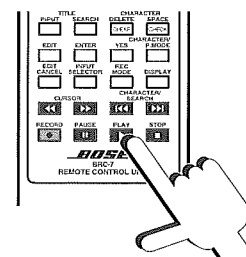
2.希望の曲番をプログラムする。

①数字キーを押して曲番を選びます。

たとえば12曲目をプログラムするには

曲番12： +10 ⇨ 2

②CHARACTER/P.MODEキーを押して、その曲番をプログラムします。

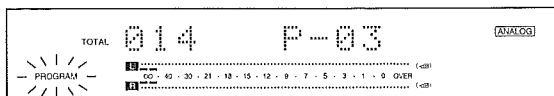
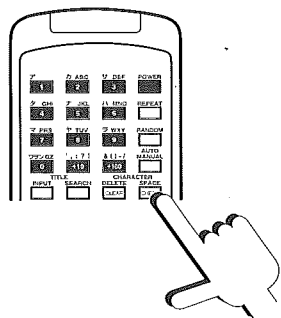
①、②の操作を繰り返して、希望の曲をプログラムします。

※極端に短い曲はプログラムできません。
※曲番が点滅している間にCHARACTER/P.MODEキーを押さなかった場合、その曲はプログラムされません。

●32曲までプログラムできます。32曲をこえると表示部に"FULL"が表示されます。

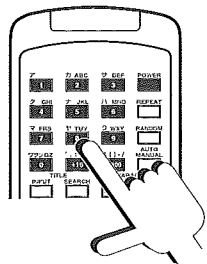
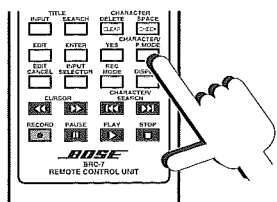
●曲番を間違えたときは、CHARACTER DELETE/CLEARキーを押して、曲番を入れ直してください。

●もう一度CHARACTER/P.MODEキーを押すと、プログラムモードが解除され、プログラムは消去されます。

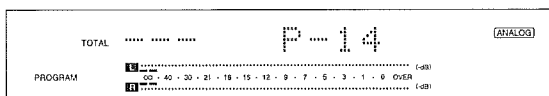
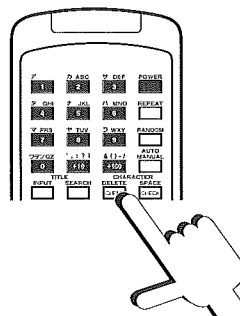
3.再生する。

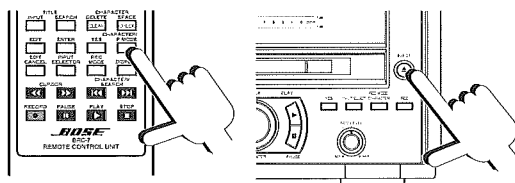
PLAYキー（ ▶ ）を押します。

●プログラムした順番に再生されます。

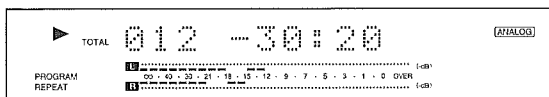
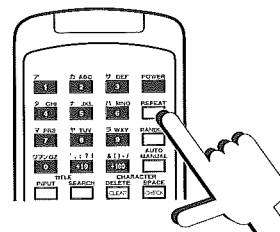
※プログラムした曲の総再生時間が256分をこえると、表示部に"ー＊＊：＊＊"が表示され時間の表示にはなりません。

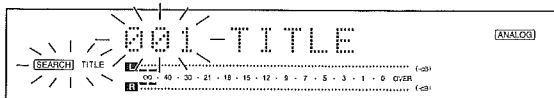
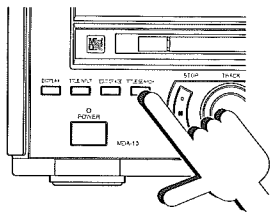
プログラム内容のチェック

CHARACTER SPACE/CHECKキーを押すと、表示部の"PROGRAM"が点滅をはじめ、最初にプログラムした曲が表示されます。キーを押すたびに、次にプログラム（メモリー）した曲番が表示されます。

● "PROGRAM"の点滅が終わると、チェックモードは解除されます。

プログラムに曲を追加するには

停止中に、希望の曲番とCHARACTER/P.MODEキーを押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

曲を選び

CHARACTER/P.MODE
キーを押す

プログラムの一部を削除するには

停止中にCHARACTER DELETE/CLEARキーを押すと、プログラムの最後の曲が削除されます。

すべてのプログラム内容の消去

CHARACTER/P.MODEキーまたはEJECTキー（ ▲ ）を押すと、すべてのプログラム内容が消去されます。

プログラムした曲をリピート再生するには

プログラムモードのときに、REPEATキーを押して表示部に"REPEAT"を点灯させると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

タイトルサーチ

1.TITLE SEARCHキーを押す。

その曲にタイトルが付いていない場合は、表示部にトラックナンバーと“・・・・”が表示されます。

●停止中でも再生中でも操作できます。

●タイトルサーチを中断する場合は、もう一度TITLE SEARCHキーを押してください。

※プログラムモードでは操作できません。

2.希望の曲を選ぶ。

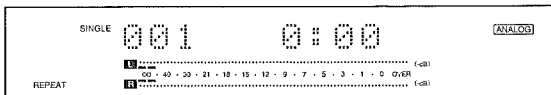
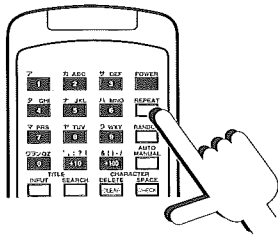
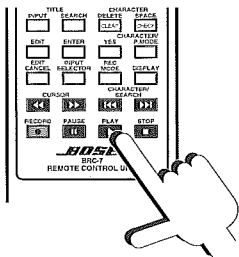
ジョグダイヤルを回して、聴きたい曲を選んでください。

3.再生する。

ジョグダイヤルまたはPLAYキー（ ▶ ）を押すと再生が始まります。

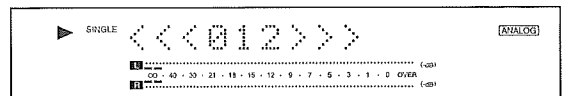
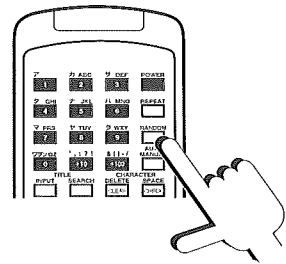
●リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（|◀◀/▶▶|）で選曲してからENTERキーまたはPLAYキー（ ▶ ）を押してください。

リピート（繰り返し）再生

1.REPEATキーを押す。

2.PLAYキー（ ▶ ）を押す。

MDの全曲がリピート再生されます。プログラムモードでは、プログラムした曲がリピート再生されます。全曲をリピート再生したい場合は、CHARACTER/P.MODEキーを押してプログラムモードを解除してください。

●リピート機能を解除したいときは、もう一度REPEATキーを押してください。

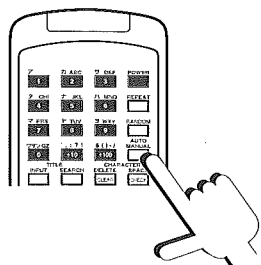
ランダム（順不同）再生

停止中にリモコンのRANDOMキーを押すと、MDの曲がランダムに再生されます。

●ランダム再生中にCHARACTER/SEARCHキー（▶▶I）を押すと、次の曲がランダムに選択されます。CHARACTER/SEARCHキー（I◀◀）を押すと、現在の曲の頭に戻ります。既にランダム再生が終わった曲には戻れません。

※プログラムモードではランダム再生できません。

録音の前に

録音中に曲番を付けるには

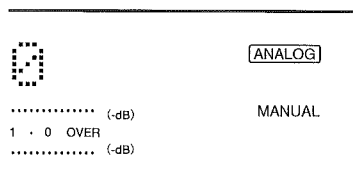
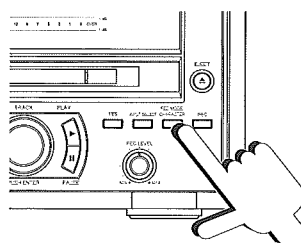
曲番を付けておくと、編集のときや、再生時の頭出しなどに便利です。リモコンのAUTO MANUALキーを押すと、曲番を付けるときのモードが切り替わります。

オート(AUTO)

オートモードにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。入力信号が2秒[※1]以上続けて一定のレベル[※2]以下になった場合、自動的に曲番を更新します。

CDまたはMDからデジタル録音しているときは、AUTO/MANUALに関係なく、CDまたはMDのデータに応じて自動的に曲番が付きます。

※1：0.5秒から4秒まで設定を変えることができます(18ページ設定項目について参照)。
※2：無音のレベルの設定をある程度変えることができます(18ページ設定項目について参照)。

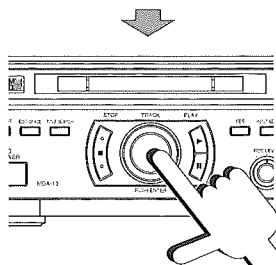
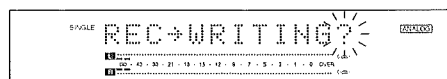
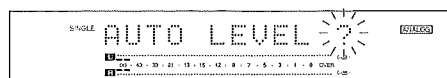
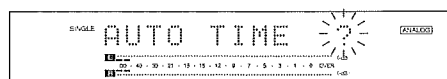
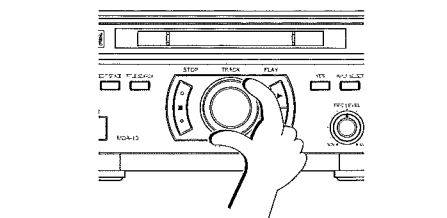
マニュアル(MANUAL)

マニュアルモードにすると、"MANUAL"が点灯します。録音中、曲番を付けたいところでEDIT/SPACEキー(リモコンの場合はEDIT CANCELキー)を押します。

●録音後に曲番を付けたいときは、編集操作で曲を分割してください(31、32ページ参照)。

●オートモードでも、録音中にEDIT/SPACEキー(リモコンの場合はEDIT CANCELキー)を押して曲の途中に曲番を追加することができます。

REC MODEの設定

1.REC MODE/CHARACTERキーを押す。

リモコンの場合はREC MODEキーを押します。REC MODEにすると"AUTO TIME?"が表示されます。もう一度このキーを押すと、REC MODEは解除されます。

気を付けて

●アナログ録音の場合は、曲の無音部分を感知して曲番を付けます。そのため次のような場合、正確な位置に曲番が付かないことがあります。
・拍手などで、曲の間に無音部分がない場合。
・曲の間の雑音が大きい場合。
・クラシック音楽などで曲の途中で音が非常に小さくなる場合。

●CDプレーヤーからのデジタル録音の場合は、無音部分の長さに関係なく、もとの曲番が付きます。ただし、次のような場合もありますのでご注意ください。
・再生側CDの曲番と、録音されたMDの曲番が同じにならない場合があります。
・録音時に再生側CDをプログラム再生、あるいは手動で選曲しながら再生した場合は、曲番が正しく付かない場合があります。

録音の前に（続き）

2.設定する項目を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して設定項目を選択してから、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（|◀◀/▶▶|）で選択してからENTERキーを押してください。

3.時間、レベル、TOC書き込みを設定する。

ジョグダイヤルを回して設定数値、ON/OFFを選択してから、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー （|◀◀/▶▶|）で選択してからENTERキーを押してください。
すべての設定が終わるまで**2**、**3**の操作を繰り返してください。

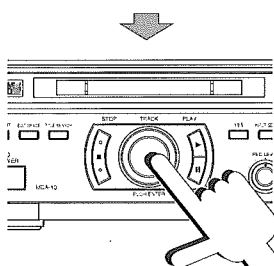
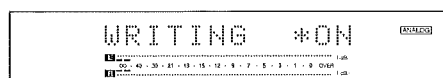
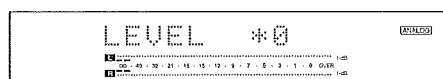
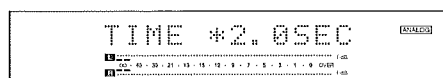
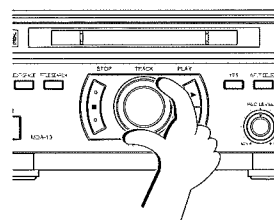
4.REC MODE/CHARACTERキーを押して設定を終了する。

リモコンの場合はREC MODEキーを押してください。

設定項目について

AUTO TIME?（アナログ録音のみ）

オートモードで曲番を付ける際に無信号状態を検出する秒数を、0.5秒から4秒まで0.5秒刻みで設定できます。初期値は2秒です（“TIME ＊2.0”）。

AUTO LEVEL?（アナログ録音のみ）

オートモードで曲番を付ける際の入力信号のレベルを、−2から+2まで設定できます。初期値は0です（“LEVEL ＊0”）。

REC→WRITING?

録音終了時のTOC書き込みのオン/オフを設定できます。オフにするとWRITING動作に入りません。連続して録音することができるので、ライブ録音などに便利です。初期設定はオンです。

サンプリングレートコンバーターについて

一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

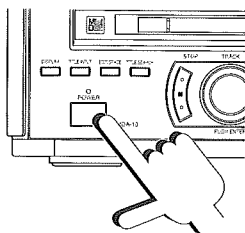
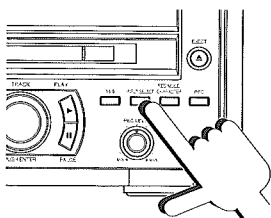
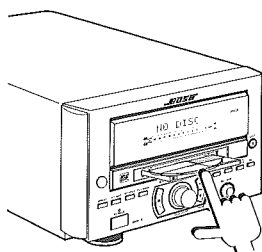
48kHz ：DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
44.1kHz：DATの標準モード、CD、MDなど。
32kHz ：DATの標準のおよび長時間モード、衛星放送のAモードなど。

CD、CS/BS、DAT、デジタル放送メディアなど、サンプリング周波数の異なるソースを高音質なデジタル信号のまま録音するために、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換します。

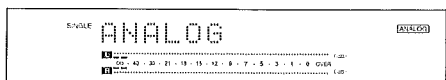
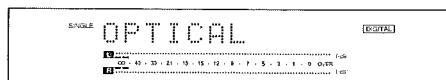
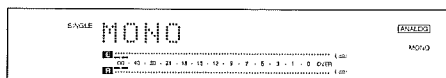
（DAT：Digital Audio Tape）

録　音

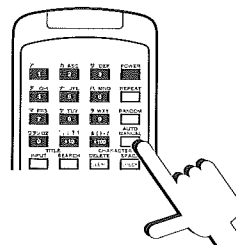
1.電源を入れる。

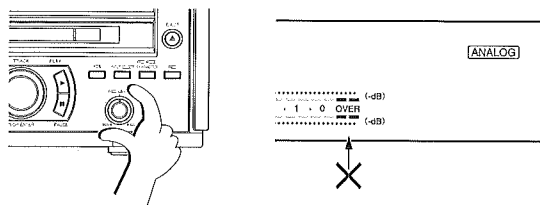
POWERキーを押します。

2.録音用のMDを入れる。

●途中まで録音してあるMDを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。

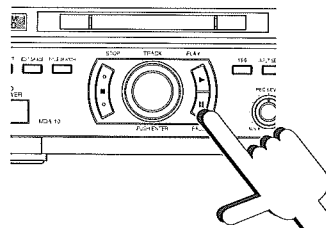
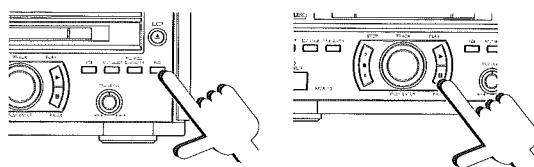
3.入力を選ぶ。

INPUT SELECTキーを押して、入力を選びます。

OPTICAL　：デジタル入力

MONO　：アナログ入力(モノラル録音)

ANALOG　：アナログ入力(ステレオ録音)

●MONOで録音すると、録音可能時間はステレオ録音時の約2倍になります。ただし、アナログ信号の録音の場合のみ使用できます。

4.オートかマニュアルを選ぶ。

リモコンのAUTO MANUALキーを押して、曲番の付け方を選びます(17ページ参照)。

※この操作はリモコンのみで行います。

5.PAUSEキーを押す。

録音待機状態になります。

6.録音レベルを調節する(アナログ入力の場合のみ)。

録音するソースの音を出し、音が最も大きい時にピークレベルメーターの“OVER”の部分が点灯しないように調節します。

7.録音を始める。

本機のRECキーまたはPAUSEキー(▮▮)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。

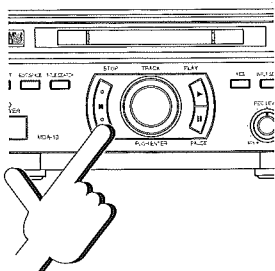
録　音（続き）

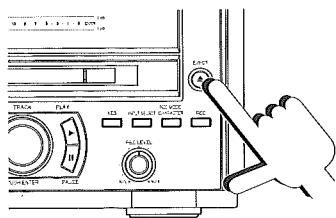
●録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、曲番が付きます。

●デジタル接続でCDの一曲をリピート再生して録音する場合、曲番が付かないことがあります。録音後に編集するか、曲が始まる度にEDIT/SPACEキーを押して曲番を追加してください。

●デジタル接続でMDの録音を開始した後にCDの再生を始めた場合、不要な曲番が付いてしまうことがあります。録音後に編集して削除するか、CDシンクロ録音を行ってください。

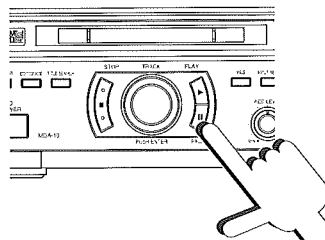
録音を止めるには

STOPキー（ ■ ）を押すと録音が停止します。

MDを取り出すには

STOPキー（ ■ ）を押して録音を停止してから、EJECTキー（ ▲ ）を押します。

"WRITING"が表示されているときは

録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

録音を一時停止するには

PAUSEキー（ ▮▮ ）を押すと一時停止状態になり表示部の" ▮▮ "が点灯します。再び録音を始めるには、PAUSEキー（ ▮▮ ）またはRECキーを押してください。

●録音を一時停止するたびに、曲番が付きます。

以下の表示が出た場合は録音できません。

"DISC FULL"
MDがいっぱいです。不要な曲を消去するか、別のMDを使用してください。

"PROTECTED"
誤消去防止状態になっています。MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

"PLAY ONLY"
再生専用のMDには録音できません。録音用のMDを使用してください。

"＊＊＊ UNLOCK"
システムとのデジタル接続を確認してください。

"＊＊＊ SCMS ON"
シリアルコピーマネージメントシステム（22ページ参照）で制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

"＊＊＊ not Audio"
デジタル入力されている信号がオーディオ信号でないため、録音できません。

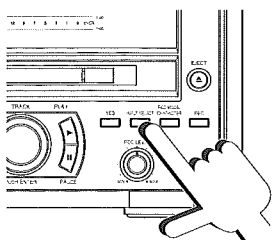
（"＊＊＊" の部分には曲番が表示されます）

CDシンクロ録音

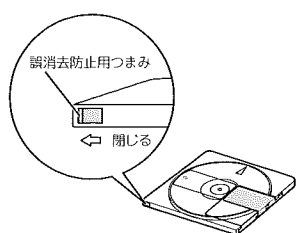
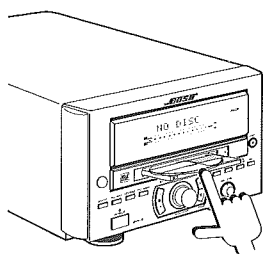
CDチューナーアンプAMS-DMCとシステム接続すると、CDシンクロ録音が可能になります。
※AMS-DMCと組み合わせてご使用になる場合は、光デジタルケーブルとリモートコントロールコードが正しく接続されていることと、本機背面リモコンセレクターが"SYSTEM"側になっている事を確認してください。

1.CDプレーヤーにCDをセットして再生の準備をする。

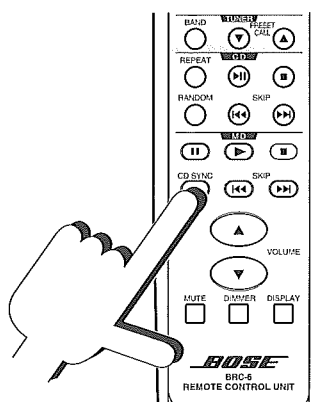
CDの曲順を変える場合は、希望順にプログラムします。

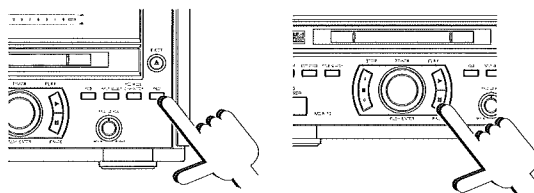
2.入力を選ぶ。

INPUT SELECTキーを押して、入力方法を選びます。

●デジタル入力で録音する場合は、本機とAMS-DMCを光デジタルケーブルで接続し、INPUT SELECTキーを押してOPTICALを選びます。

3.録音用のMDを入れる。

このときMDに録音するための空きがあることと、誤消去防止用の孔が閉じていることを必ず確認してください。

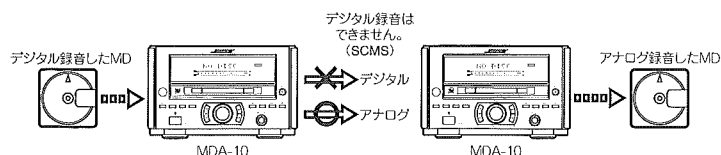
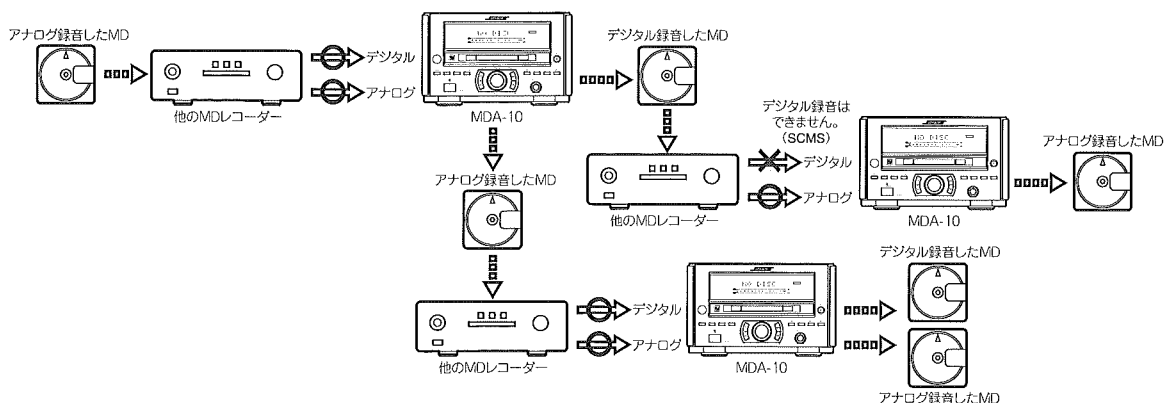
4.AMS-DMCのリモコンのCD SYNCキーを押す。

録音待機状態になります。

5.録音を始める。

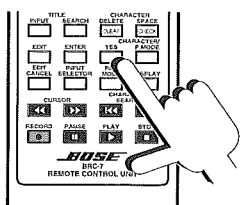
RECキーまたはPAUSEキー（ ▮▮ ）を押すと録音が始まります。

※CDシンクロ録音中は、本機のPAUSEキーと両機のSTOPキー（ ■ ）、電源スイッチのみ操作できます。

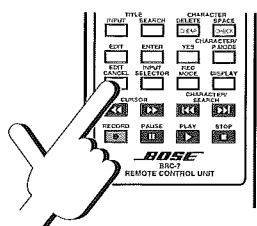
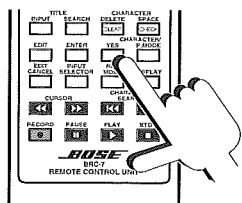
シリアルコピーマネージメントシステムについて

シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は、著作権保護のため、各種のオーディオ機器間でデジタル録音ができるのは一世代だけに制限した規定です。

・CD(コンパクトディスク)、DAT(デジタルオーディオテープ)、MD(ミニディスク)ソフトからMDへデジタル録音できますが、一度デジタル信号をデジタル信号のまま録音したMDは、他のMDへデジタル信号のまま録音することはできません。

・アナログレコードやFM放送などを本機で録音したMDから、他のMDへデジタル信号のまま録音できますが、一度デジタル信号をデジタル信号のまま録音したMDから、他のMDへデジタル信号のまま録音することはできません。

編集の前に

録音した曲を、消去したり移動したり分割したりして編集することができます。また、ディスク名や曲名を付けることもできます（再生専用のMDは編集できません）。

プログラムモードでは編集できませんので、リモコンのCHARACTER/P.MODEキーを押してプログラムモードを解除しておいてください。

編集した後で編集結果を取り消すには

MDの編集結果を取り消して、本機に挿入する前の状態に戻すことができます。MDを取り出す前に、以下のキーを押してください。取り消した後は、始めから編集作業をやり直してください。

EDIT CANCELキーを押します。

YESキーを押します。

もう一度、YESキーを押します。

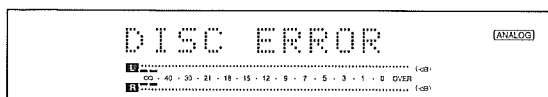
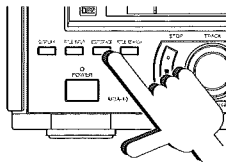
●操作を中断したい場合は、もう一度EDIT CANCELキーを押してください。

●録音結果は取り消しができません。

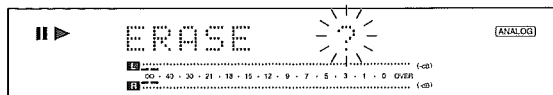
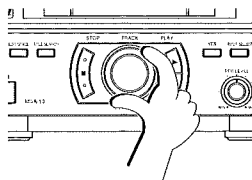
●表示部に"DISC ERROR"が表示された場合は取り消しができません。

"DISC ERROR"が表示されたら

正常なはずのMDで表示部に"DISC ERROR"が表示された場合は、MDを入れ直してみてください。

●表示部に "DISC ERROR"が表示された場合、MDの内容をすべて消去する"ALL"（26ページ参照）は可能ですが、編集結果を取り消すことはできません。

編 集

◆消去(ERASE)◆

再生中の曲を消去するには

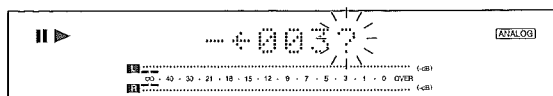
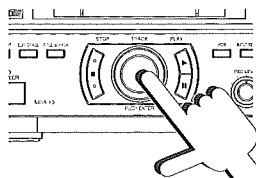
例：曲番3を消去する場合

No.1	2	3	4	5
A	B	C	D	E

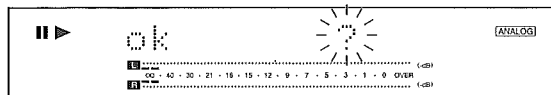
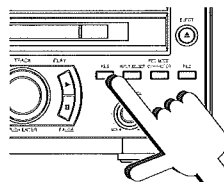
ERASE

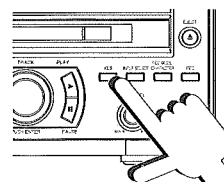
No.1	2	3	4	5
A	B	D	E	F

1.消去する曲の再生中にEDIT/SPACEキーを押す。

2.ジョグダイヤルを回してERASEを選ぶ。

リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー(|◀◀/▶▶|)を押してください。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

DIVIDE?　:曲を分割する。
COMBINE?:曲をつなぐ。
ERASE?　:曲を消去する。
MOVE?　:曲を移動する。

●8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

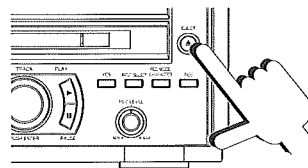
3.ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はENTERキーを押します。

4.YESキーを押して曲番を確定する。

5.もう一度YESキーを押す。

表示部は次のように編集されます。

"EDIT NOW !" :編集中です。
"COMPLETE !":編集が無事終了しました。

※"COMPLETE !"の表示中は、EJECTキー(▲)やPOWERキーを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

●編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT !"が表示されます。

6.編集を途中で止めるには。

編集結果を取り消したいときは、23ページの取り消しの操作を行ってください。

7.MDを取り出す。

EJECTキー(▲)を押してMDを取り出します。

"WRITING"が表示されているときは

録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

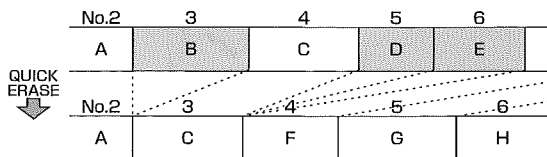
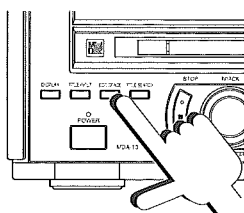
◆消去（QUICK ERASE）◆

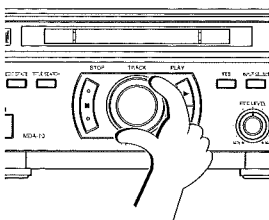
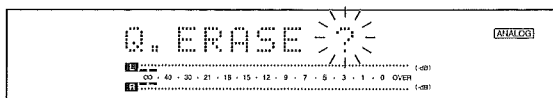
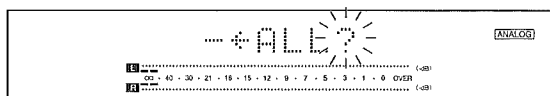
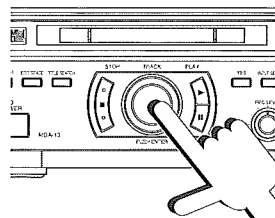
複数の曲を消去するには

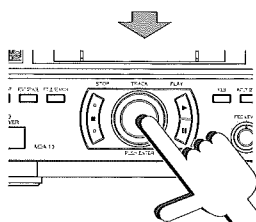
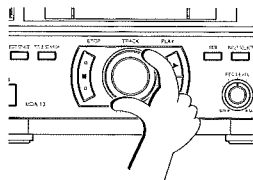
例：曲番3、5、6を消去する場合

No.2	3	4	5	6
A	B	C	D	E

QUICK ERASE

No.2	3	4	5	6
A	C	F	G	H

1.停止中にEDIT/SPACEキーを押す。

2.ジョグダイヤルを回してQ.ERASEを選ぶ。

リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（⏮/⏭）を押します。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

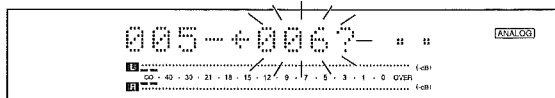
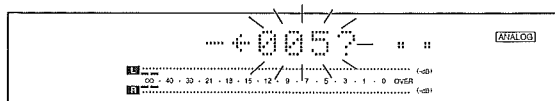
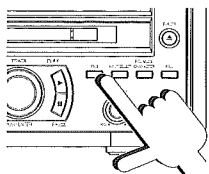
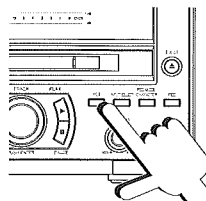
Q.MOVE? ：曲を移動する。
Q.ERASE?：曲を消去する。

●編集を中断したい場合は、もう一度EDIT/SPACEキーを押してください。

●8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

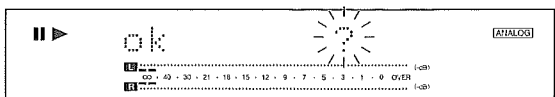
3.ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はENTERキーを押します。

4.消去する曲を選ぶ。

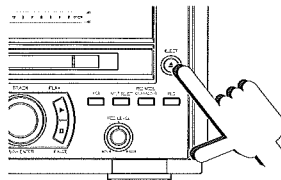
ジョグダイヤルを回して曲番を選び、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（|◀◀ / ▶▶|）とENTERキーで操作してください。すべての曲を消去する場合は、"ALL"を選びます。

●曲番を間違えた場合は、リモコンのCHARACTER DELETE/CLEARキーを押すと最後に選んだ曲を選び直せます。

●全部の曲を選び直したいときは、編集を中断して最初からやり直してください。

●消去する曲番はCURSORキー（◀◀ / ▶▶）で確認できます。

5.曲番を選び終わったらYESキーを押す。

6.もう一度YESキーを押す。

表示部には次のように表示されます。

"EDIT NOW !"　：編集中です。
"COMPLETE !"：編集が無事終了しました。

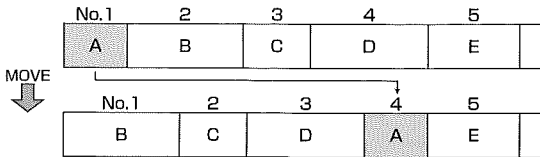
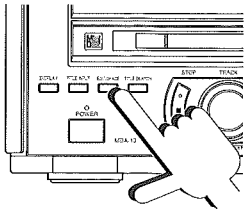
※表示部に"COMPLETE !"の表示中は、EJECTキー（ ⏏ ）やPOWERキーを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

●編集できなかった場合は、"CAN'T EDIT !"が表示されます。

7.編集を途中で止めるには。

編集結果を取り消したいときは、23ページの取り消しの操作を行ってください。

8.MDを取り出す。

EJECTキー（ ⏏ ）を押してMDを取り出します。

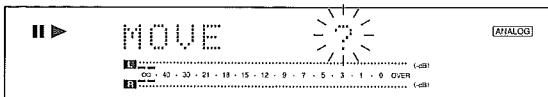
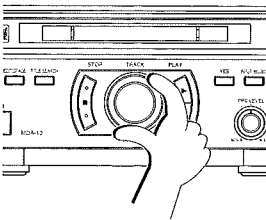
"WRITING"が表示されているときは

録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

◆移動(MOVE)◆

再生中の曲を移動するには

例：曲番1から曲番4に移動する場合

No.1	2	3	4	5
A	B	C	D	E

MOVE ⇩

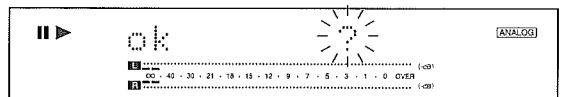
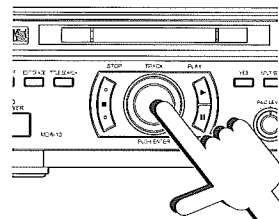
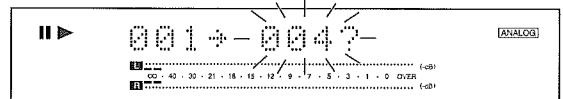
No.1	2	3	4	5
B	C	D	A	E

1.移動したい曲の再生中または一時停止中にEDIT/SPACEキーを押す。

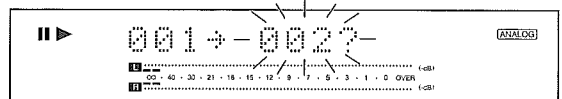
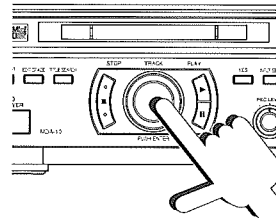
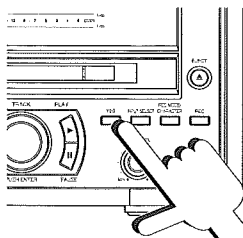
2.ジョグダイヤルを回してMOVEを選ぶ。

リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（|◀◀/▶▶|）を押します。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

DIVIDE?　：曲を分割する。
COMBINE?：曲をつなぐ。
ERASE?　：曲を消去する。
MOVE?　：曲を移動する。

●8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

3.ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はENTERキーを押します。

4.移動先を選ぶ。

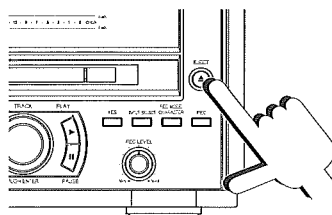
ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を選び、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（|◀◀/▶▶|）で選択してからENTERキーを押します。

編　集（続き）

5.YESキーを押す。

表示部は次のように表示されます。

"EDIT NOW !"　：編集中です。
"COMPLETE !"：編集が無事終了しました。

※"COMPLETE !"の表示中は、EJECTキー（ ▲ ）やPOWERキーを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

●編集できなかった場合は、"CAN' T EDIT !"が表示されます。

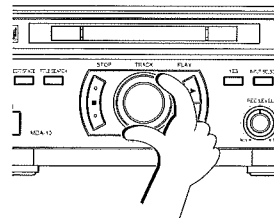
6.編集を途中で止めるには。

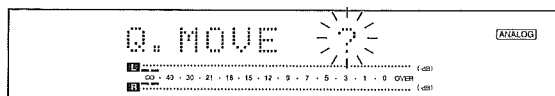
編集結果を取り消したいときは、23ページの取り消しの操作を行ってください。

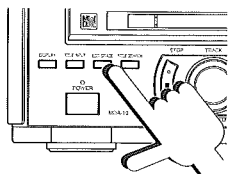
7.MDを取り出す。

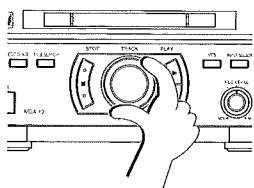
EJECTキー（ ▲ ）を押してMDを取り出してください。

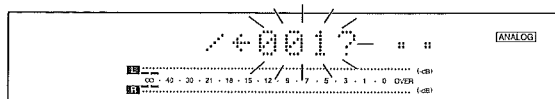
"WRITING"が表示されているときは

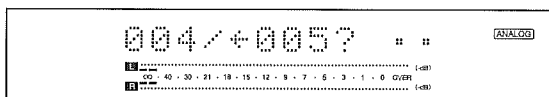
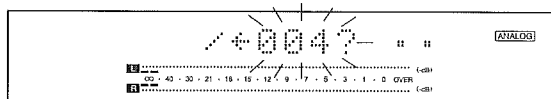
録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

◆移動（QUICK MOVE）◆

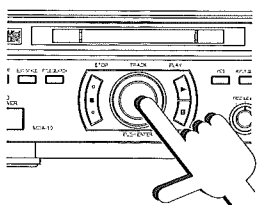
複数の曲を一度に移動するには

一度に20曲まで移動できます。

1.停止中にEDITキーを押す。

2.ジョグダイヤルを回してQ.MOVEを選ぶ。

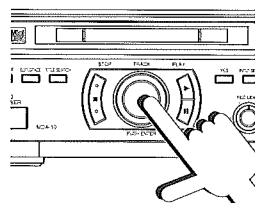
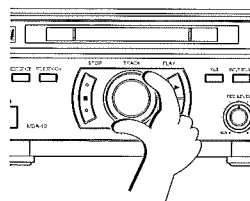
リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（I◀◀/▶▶I）を押します。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

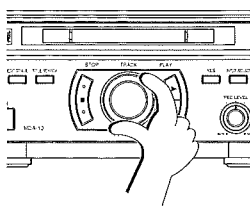
Q.MOVE? ：曲を移動する。
Q.ERASE?：曲を消去する。

●編集を中断したい場合は、もう一度EDIT/SPACEキーを押します。

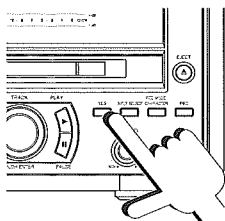
●8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

3.ジョグダイヤルを押す。

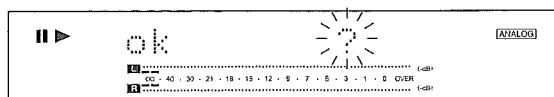
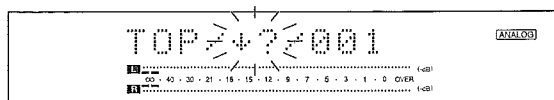
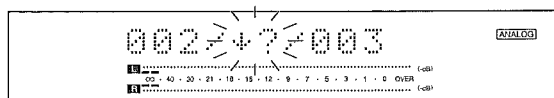
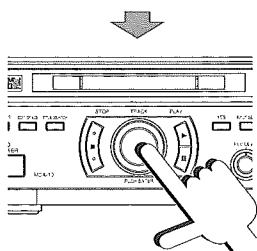
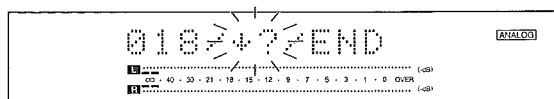
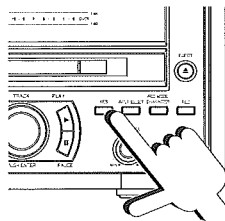
リモコンの場合はENTERキーを押します。

4.移動する曲番を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して移動する曲番を選び、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（I◀◀/▶▶I）で選択してからENTERキーを押します。

移動したい曲番を移動したい順番に全部選択するまで、この操作を繰り返してください。

●曲番はCURSORキー（◀◀/▶▶）で確認できます。

●曲番を間違えた場合、リモコンのCHARACTER DELETE/CLEARキーを押すと、最後に選択した曲だけが消えます。全部の曲を選び直したい場合は、EDIT/SPACEキーを押して編集を中断し、最初からやり直してください。

編　集（続き）

5.曲番を選び終わったら、YESキーを押す。

6.移動先を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して移動先を選び、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（I◀◀／▶▶I）で選択してからENTERキーを押します。

一番前に移動するとき

二つの曲番の間に移動するとき
（例：2曲目と3曲目の間）

一番後ろに移動するとき

7.YESキーを押す。

表示部には次のように表示されます。

“EDIT NOW !”　：編集中です。
“COMPLETE !”：編集が無事終了しました。

※“COMPLETE !”の表示中は、EJECTキー（ ▲ ）やPOWERキーを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

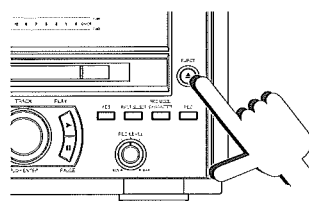
●編集できなかった場合は、“CAN’T EDIT !”が表示されます。

●一部の曲だけを選択した状態でYESキーを押すと、選択されなかった曲は編集した部分の最後に追加されます。

8.編集を途中で止めるには。

編集結果を取り消したいときは、23ページの取り消しの操作を行ってください。

9.MDを取り出す。

EJECTキー（ ▲ ）を押してMDを取り出します。

“WRITING”が表示されているときは

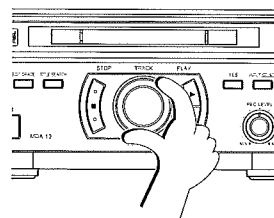
録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

編　集（続き）

◆分割（DIVIDE）◆

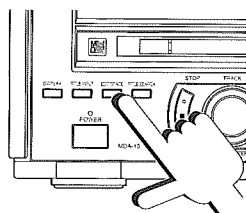
曲を分割するには

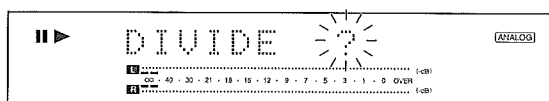
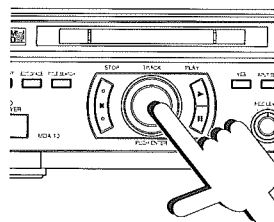
ひとつの曲として録音されたものをいくつかに分割することができます。アナログ録音したMDなどで、ひとつの曲番に複数の曲が録音されているときや、曲の途中で頭出しのための曲番を付けたいときに、この機能が使えます。分割したところよりあとの曲には、連続した新しい曲番が付きます。プレビュー機能を使うと、分割する位置を正確に指定できます。

例：曲番3を分割する場合

No.1	2	3		4
A	B	C	D	E

DIVIDE ⇩

No.1	2	3	4	5
A	B	C	D	E

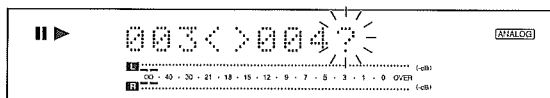
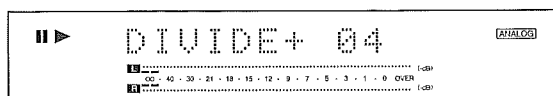
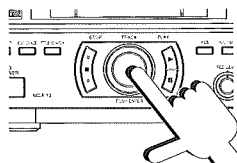
1.再生中または一時停止中、分割したいところでEDIT/SPACEキーを押す。

2.ジョグダイヤルを回してDIVIDEを選ぶ。

リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（⏮/⏭）を押します。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

DIVIDE?　　：曲を分割する。
COMBINE?　：曲をつなぐ。
ERASE?　　：曲を消去する。
MOVE?　　：曲を移動する。

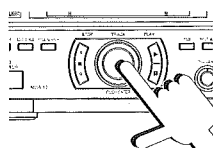
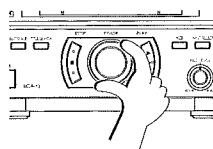
●8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。

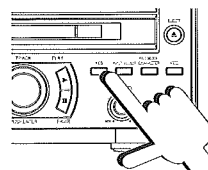
3.ジョグダイヤルを押す。

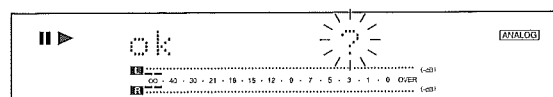
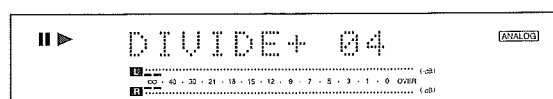
リモコンの場合はENTERキーを押します。

プレビューする必要がない場合は、YESキーを一回押して**6.**に進んでください（表示部に"ok?"が表示されます）。

編　集（続き）

4.プレビューする。

ジョグダイヤル(リモコンの場合はENTERキー)を2回押すと、分割する位置から3秒間再生されます。

●曲の最後にプレビューを始めると、次の曲も続けてプレビューされますが、DIVIDEでは分割できません。

5.分割する位置を調節する。

音を聴きながらジョグダイヤルを回して調節し、分割したい位置でジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー(|◀◀/▶▶|)で位置を合わせてからENTERキーを押します。

●ジョグダイヤルを回すと、**1.**でEDIT/SPACEキーを押した位置より後の部分を、60ms(6/100秒)刻み32段階で調節できます。分割したい位置より少し前にEDIT/SPACEキーを押しておくと、編集が楽になります。

6.YESキーを押す。

曲をふたつに分割し、2曲目の頭で一時停止状態になります。

表示部は次ように表示されます。

"EDIT NOW !"　：編集中です。
"COMPLETE !"　：編集が無事終了しました。

※"COMPLETE !"の表示中は、EJECTキー(▲)やPOWERキーを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

●編集できなかった場合は、"CAN' T EDIT !"が表示されます。

●分割した曲の間にブランク(無録音部分)は入りません。

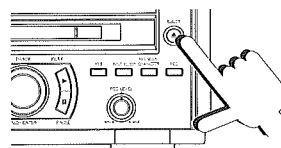
●MDのシステム上の制約により分割できないことがあります。

1.から**6.**の操作を繰り返して、最大255曲まで分割できます。

7.編集を途中で止めるには。

編集結果を取り消したいときは、23ページの取り消しの操作を行ってください。

8.MDを取り出す。

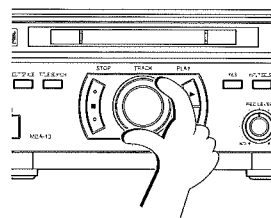
EJECTキー(▲)を押してMDを取り出します。

"WRITING"が表示されているときは

録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

◆つなぐ（COMBINE）◆

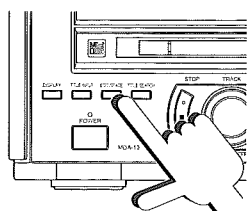
曲をつなぐには

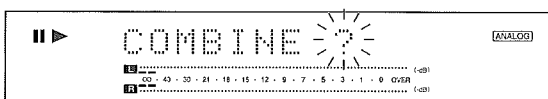
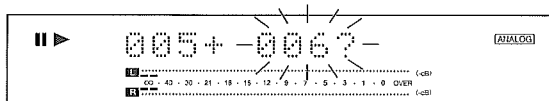
2つの曲を1つにつなぐことができます。つながれた曲の曲番と曲名は削除され、それ以降の曲の曲番は自動的に更新されます。

例：曲番5を曲番7とつなげる場合。

No.4	5	6	7	8
A	B	C	D	E

COMBINE ⇩

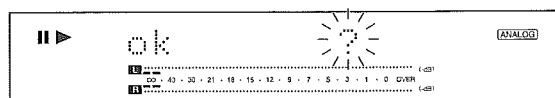
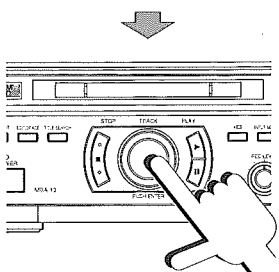
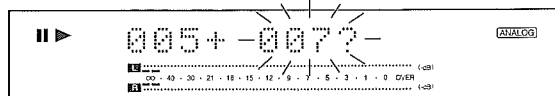
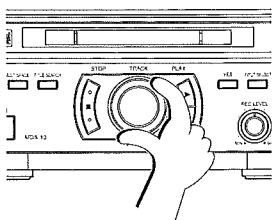
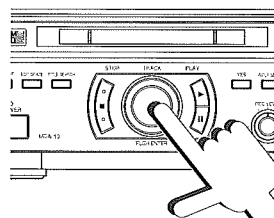
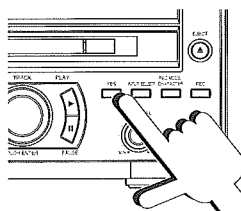
No.4	5		6	7
A	B	D	C	E

1.つなぎたい曲（曲番5）を再生してEDIT/SPACEキーを押す。

2.ジョグダイヤルを回してCOMBINEを選ぶ。

リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（I◀◀/▶▶I）を押します。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

DIVIDE?　　：曲を分割する。
COMBINE?　：曲をつなぐ。
ERASE?　　：曲を消去する。
MOVE?　　：曲を移動する。

●8秒以上放置すると、編集モードは解除されます。
●編集を始めると本機は一時停止状態になります。

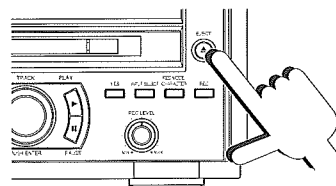
3.ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はENTERキーを押します。

4.つなげる曲番（曲番7）を選ぶ。

ジョグダイヤルを回して曲番を選び、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー（|◀◀/▶▶|）を押してからENTERキーを押します。

5.YESキーを押す。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

"EDIT NOW !"　：編集中です。
"COMPLETE !"　：編集が無事終了しました。

※"COMPLETE !"の表示中は、EJECTキー（▲）やPOWERキーを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。

●編集できなかった場合は、"CAN' T EDIT !"が表示されます。

●編集が終わると、編集した曲の頭で一時停止状態になります。

●MDのシステム上の制約により編集できないことがあります。

6.編集を途中で止めるには。

編集結果を取り消したいときは、23ページの取り消しの操作を行ってください。

7.MDを取り出す。

EJECTキー（▲）を押してMDを取り出します。

"WRITING"が表示されているときは

録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

タイトルの編集

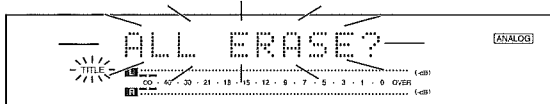
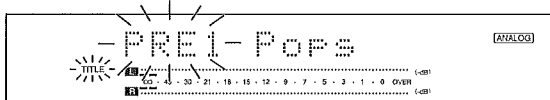
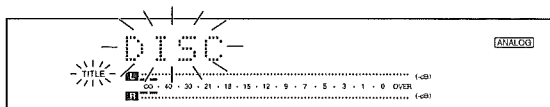
カタカナ、アルファベットの大文字と小文字、数字、記号を使って、曲やMDにタイトルを付けることができます。タイトルは再生中に表示され、タイトルで曲を探すこともできます。

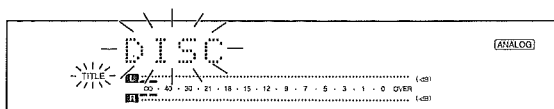
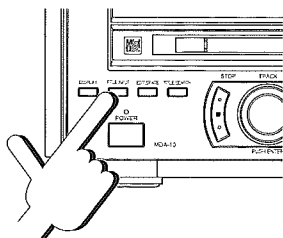
プリセットタイトル

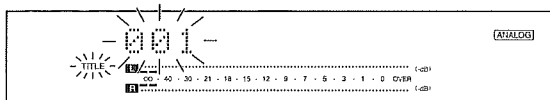
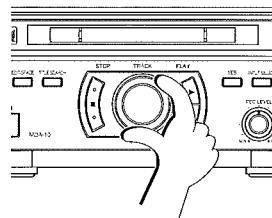
あらかじめ用意されたプリセットタイトルを使ったり、頻繁に使うタイトルを登録しておけば、簡単にタイトルを編集できます。
プリセットの内容は次のとおりです。

PRE1 : Pops
PRE2 : Rock
PRE3 : Classic
PRE4 : Jazz
PRE5 : Disco
PRE6 : Best Hits
PRE7 : Air Check
PRE8 : No.
PRE9 : Vol.

プリセットタイトルの内容は変更することができます。

本機をリセットすると、プリセットタイトルは工場出荷時の状態に戻ります(42ページ参照)。

1.TITLE INPUTキーを押す。

停止中でも再生中でも操作できます。

2.ジョグダイヤルを回して編集モードを選ぶ。

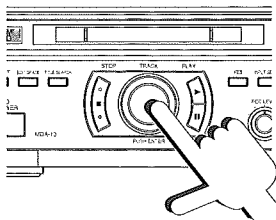
リモコンの場合はCHARACTER/SEARCHキー(⏮/⏭)を押します。

ジョグダイヤルを回すと、表示部の表示は以下のように変わります。

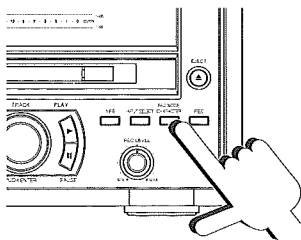
DISC　　　　：ディスクにタイトルを付けるとき。
001～　　　　：曲番にタイトルを付けるとき。
PRE1～PRE9 ：プリセットタイトルの編集。
ALL ERASE? ：ディスク名、全曲消去。

●操作を中断したいときはTITLE/INPUTキーを押してください。

●8秒以上放置するとタイトル編集モードは解除されます。

3.ジョグダイヤルを押す。

リモコンの場合はENTERキーを押します。

4.入力する文字の種類を選ぶ。

本体のREC MODE/CHARACTERキーまたはリモコンのCHARACTER/P.MODEキーを押して、入力する文字の種類を選びます。

アルファベット大文字

A→B→C→D→E→・・・→X→Y→Z→□

アルファベット小文字

a→b→c→d→e→・・・→x→y→z→□

数字・記号・プリセットタイトル

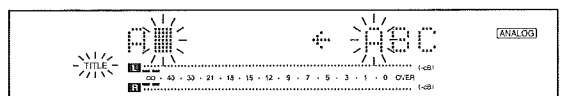
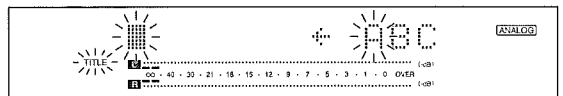
0→1→・・・→9→□→!→・・・→@→_→`

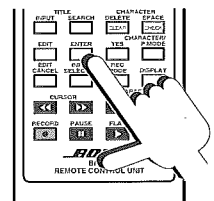
PRE9←・・・←PRE9←PRE9

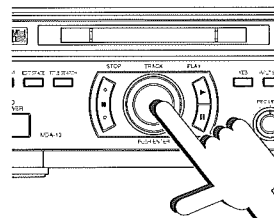
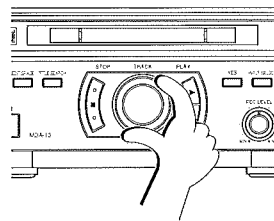
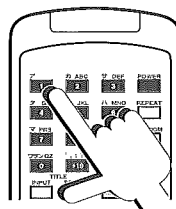
（記号：！"#$%&'（）*+,-./:;<=>?@_`）

カタカナ

ア→イ→・・・→ワ→ヲ→ン→ァ→ィ→・・・

□←ー←ポ←ペ←・・・←ギ←ガ←ヴ←ョ

カタカナの濁音と半濁音は、2文字分使用して表示されます。

5.文字を入力する。

ジョグダイヤルを回して文字を選び、ジョグダイヤルを押します。リモコンの場合は、CHARACTER/SEARCHキー（⏮/⏭）とENTERキーで操作します。

タイトルの文字を全部入力するまでこの操作を繰り返してください。

●リモコンの数字キーを使って文字を選ぶこともできます。
（例：カタカナモードで [1] を押す度に表示部に"アイウエオ"が順番に表示されます）

●スペースを入れるときはEDIT/SPACEキーも使えます。

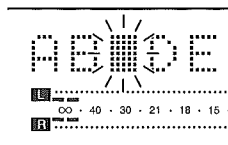
●CURSORキー（◀◀/▶▶）を押すとカーソルが左右に移動し表示部がスクロールします。表示部に表示されていない文字を選ぶときは表示部をスクロールさせてください。

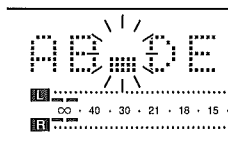
●文字を消したいときはCHARACTER DELETE/CLEARキーを押すと一文字ずつ削除できます。

●途中で文字の種類を変えるときは、CHARACTER/P.MODEキーを押してください。

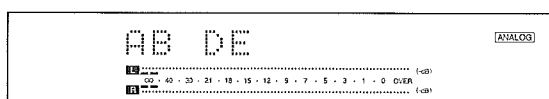
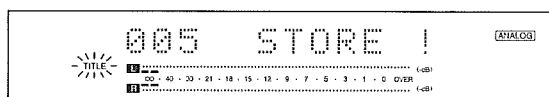
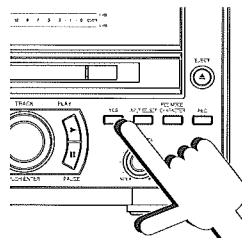
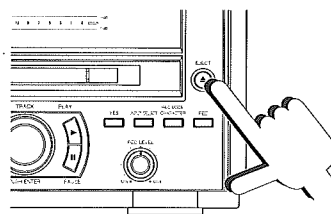
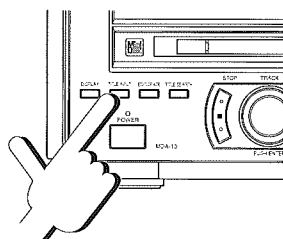
●TITLE SEARCHキーを押すと、上書きモードと挿入モードの切り替えができます。入力した文字を変更したいときは、CURSORキー（◀◀/▶▶）でカーソルを移動して、文字を入力してください。

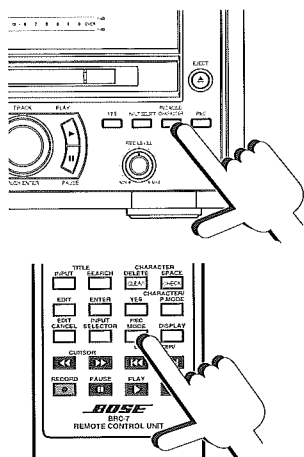
上書きモード:

文字を入力すると、カーソルの下の文字が置き換えられます。

挿入モード:

カーソルがある文字の前に文字を挿入します。

タイトルに使える文字数

一枚のMDのつき最大1792文字、一曲につき80文字まで入力できます。スペースも一文字として数えます。カタカナを使用した場合は、一文字あたりのデーター量が大きいため、入力できる文字数は少なくなります。タイトルを削除するときは、既存のタイトルの上にスペースを上書きするのではなく、CHARACTER DELETE/CLEARキーで削除してください。

6.YESキーを押す。

7.タイトルの編集が終わったらTITLE INPUTキーを押す。

8.MDを取り出す。

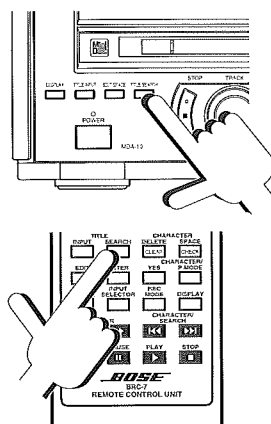
EJECTキー（▲）を押してMDを取り出します。

"WRITING"が表示されているときは

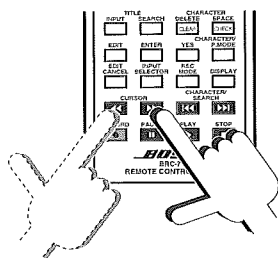
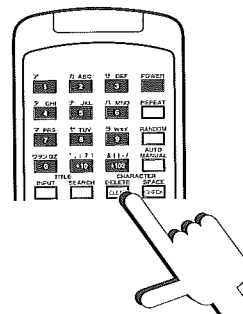
録音した内容をMDに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

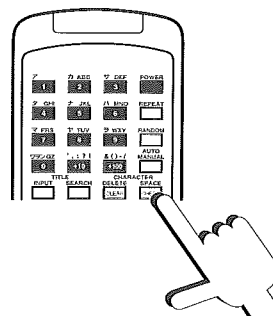
タイトルの編集（続き）

タイトル編集に使用するキー

●REC MODE/CHARACTERキー

文字の種類を変更するときに押します。

●CURSOR（◀◀ / ▶▶）

カーソルを左右に動かして表示部をスクロールするときに押します。

●TITLE SEARCHキー

上書きモードと挿入モードを切り替えるときに押します。

●CHARACTER DELETE/CLEARキー

カーソルの下にある文字を消します。全部の文字を消したいときは、このキーを押し続けます。

●CHARACTER SPACE/CHECKキー

このキーを押すと、カーソルの前に一文字分のスペースが入ります。

表示部の表示

DISPLAYキーを押すと、表示部の表示が変わります。

再生中の曲の経過時間

再生中の曲の残り時間

再生中のMDの総経過時間

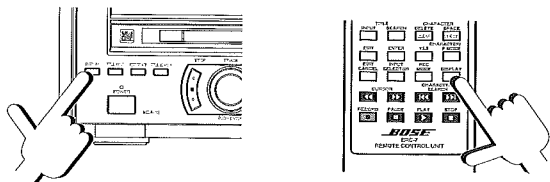
再生中のMDの残り時間

●停止中は総曲数および総再生時間を表示します。

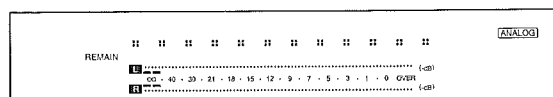
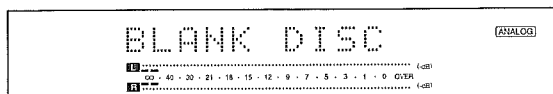
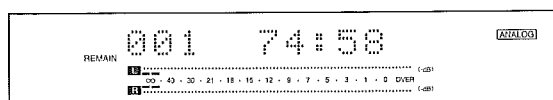
MDの録音可能時間

タイトル表示

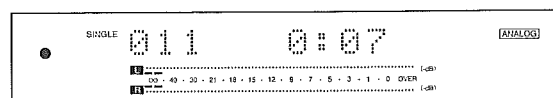
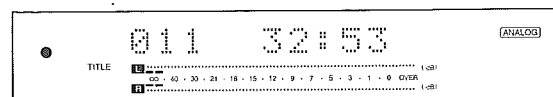
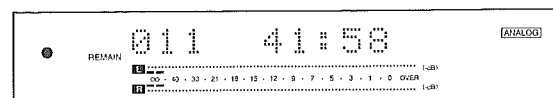
再生中および一時停止中は曲のタイトルが表示されます。

●停止中はMDのタイトルが表示されます。

表示部の表示（続き）

未録音のMDを挿入した場合の表示

“BLANK DISC”

ディスク名が付いている場合は、“NO TRACKS”が表示されます。

MDの録音可能時間

MDのタイトル表示

録音中の表示

録音中の曲の録音経過時間

録音総経過時間

録音可能時間

メッセージ表示一覧

●NO DISC
・MDが入っていません。

●＊＊＊ UNLOCK
・デジタル入力信号に異常があります。デジタル接続を確認してください。

●＊＊＊ SCMS ON
・シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

●＊＊＊ Not Audio
・デジタル入力されている信号がオーディオ信号ではないため、録音できません。

●DISC FULL
・MDの残り時間がないため、録音できません。
・255曲までしか録音できません。

●TITLE FULL
・MDと曲のタイトルは1792文字が上限です。

●BLANK DISC
・何も録音されていない録音用MDが入っています。

●NO TRACKS
・MDにタイトルが付いていますが、一曲も録音されていないMDが入っています。

●READING
・MDの情報を読み取っています。

●WRITING
・編集または録音の結果をMDに記録しています。

●DISC ERROR
・MDに異常があります。

●EDIT NOW !
・編集中です。

●CAN'T EDIT
・MDのシステム上の制約により編集できません。

●ok?
・確認を求めるメッセージです。

●PROTECTED
・MDが誤消去防止状態になっています。

●PLAY ONLY
・再生専用のMDが入っています。

（“＊＊＊”の部分には曲番が表示されます）

システム上の制約について

MD(ミニディスク)は、従来のカセットやDATと録音方式が異なるため、いくつかのシステム上の制約があります。その規制により、次のような症状が出る場合もありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●録音可能時間内であっても"DISC FULL"が表示される。

時間に関係なく、曲数がいっぱいになると"DISC FULL"を表示します。MDシステムでは、255曲以上の録音はできません。さらに曲を追加録音するには、不要な曲を消すか、別のMDに分けて録音してください。

●曲数も録音時間も余裕あるのに"DISC FULL"が表示される。

曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく"DISC FULL"を表示します。

●何曲も消したがMDの残り時間が増えない。

MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されるので、短い曲を何曲消しても時間が加算されないことがあります。

●録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。

通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に使用可能な時間は少なくなります。またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

●つなぐことができない場合がある。

編集してできた曲は、つなげない場合があります。

●サーチを行うと音が途切れる場合があります。

編集してできた曲は、サーチをすると音が途切れる場合があります。

●曲番が正確に付かないことがある。

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短い曲ができる場合があります。また、オートで曲番を付けた場合、録音するものの内容によっては曲番が正確につかないことがあります。

●"READING"表示がなかなか消えない。

新品の録音用MDをセットすると、通常より"READING"表示が長くなります。

●タイトルが1792文字入らない。

タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため。1792文字入りきらない場合があります。

モノラルフォーマットのMDでは、時間を正確に表示しない場合があります。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因　・　処　置
電源が入らない	・電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか?
"DISC ERROR"が表示される	・MDが損傷しています。MDを交換してください。
再生できない	・結露している場合は、MDを取り出して数時間放置してください。 ・何も録音されていないMDが入っている場合は、録音されているMDを入れてください。 ・MDは矢印の向きに挿入してください。
音が出ない	・システムとの接続をもう一度確認してください。 ・音量等、アンプの操作を確認してください。
録音できない	・MDが誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。 ・システムとの接続をもう一度確認してください。 ・アナログ録音の場合、録音レベルを調節してください。 ・再生専用のMDには録音できません。録音用MDと交換してください。 ・MDの残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかMDを交換してください。 ・アンプの操作を確認してください。
雑音がする	・テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。
リモコンがきかない	・AMS-DMCと組み合わせて使用している場合は、本機背面のリモコンセレクターが"SYSTEM"側になっていることを確認してください。その他の場合は"SINGLE"側にしてください。 ・リモコンと本機受光部の間に障害などがある場合は取り除いてください。 ・リモコンと本機受光部との角度が悪いと操作できない場合があるので、なるべく、リモコンは本体受光部の正面で操作してください。 ・本機の受光部に直射日光や照明の強い光が当たらないようにしてください。

リセットするには

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は、電源をオンにしたまま電源プラグをコンセントから引き抜き、EJECTキー(▲)を押しながらプラグを差し込んでマイコンをリセットしてください。

リセットすると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズ株式会社　**修理担当部門**　☎ 03-5489-1056
製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社　**インフォメーションセンター**　☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

お手入れについて

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ 注意

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

仕　様

レーザー	半導体レーザー
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
サンプリング周波数	44.1kHz(32kHz、48kHz入力時は44.1kHzに変換)
周波数特性	20～20kHz(±1dB)
SN比	92dB以上
ワウフラッター	測定限界値以下
ライン出力レベル	2.0Vrms
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	14W
サイズ	175(W)×115(H)×315(D)mm
重量	2.6kg
付属品	リモコン×1個 チェック用乾電池(単4形、UM-4)×2本 オーディオピンケーブル×2本 リモートコントロールコード×1本 光デジタルケーブル×1本

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1184
00•6-F-A•1(I-M)